

原子燃料のリサイクル利用（回収ウランの利用）について

今回輸送する島根原子力発電所 2 号機用新燃料には燃料集合体の一部に回収ウランを利用しています。

回収ウランの利用は原子燃料のリサイクル利用を図ることが目的であり、当社の使用済燃料を核燃料サイクル開発機構東海再処理工場で再処理して得られたウランを使用したものです。

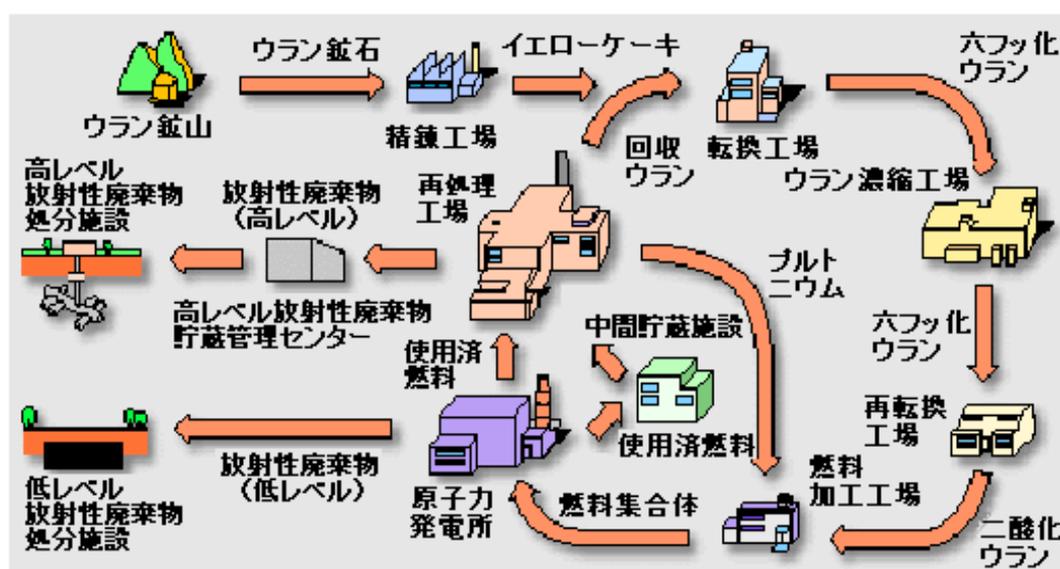


図1 核燃料リサイクル概念図

【出典】 資源エネルギー庁ホームページ
<http://www.enecho.go.jp/index02.html>

【参考】

・回収ウランとは

使用済燃料の再処理により得られるウランを回収ウランと呼びます。回収ウランに含まれるウラン 235 の割合は重量にして約 1.0wt%であり、天然ウランに含まれる割合（約 0.7wt%）より若干多くなります。この回収ウランを濃縮して通常のウラン燃料と同等の濃縮度とし、燃料体を組立てて利用します。

以上